

こいせき 小ブケ遺跡（第3次）

所在地： 津市安濃町内多（つしあのうちょううちだ）
発掘調査期間： 平成29年9月上旬～平成29年10月中旬（予定）
発掘調査面積： 約216㎡（予定）

位置情報URL：[三重県地図情報サービス](#) [小ブケ遺跡（第3次）発掘調査現場](#)

小ブケ遺跡の発掘調査が始まります！

今回、下水道の工事に先だって、小ブケ遺跡の発掘調査が行われることになりました。小ブケ遺跡では、平成25年度にも下水道工事に伴って、今回の発掘調査箇所の西側で発掘調査が行われています。その時の調査では、弥生時代終わりごろ（約1,800年前）の住居跡や、溝などがみつかっています。また、古墳時代中ごろ（約1,400～1,500年前）の登り窯のぼりがまで焼かれた須恵器すえきという焼き物が出土しましたが、その中に、焼く時に失敗して別々の個体がくっついてしまったものがありました。こうした失敗作が出土したことから、近くに須恵器を焼いた窯があったことが推測できます。

今回の調査は小規模ですが、前回の調査成果とあわせて弥生時代終わりごろのムラの様子が詳しく分かってきたり、須恵器の窯跡の存在を示すさらなる証拠が発見されるなどの成果が期待できます。今後の調査の動向に、ぜひご注目ください。



前回の調査の様子（平成25年度）



前回の調査で土器が出土した様子



前回の調査で出土した須恵器の失敗品

<問い合わせ先>

〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川503

三重県埋蔵文化財センター調査研究1課

担当者：石井・渡辺

電話：0596-52-1732 FAX：0596-52-7035